2026 年　第 3 回　聖隷看護小規模多機能運営推進会議 議事録

日時　：2026 年 9 月 10 日（木）14：00～14：45

参加者：米山氏（武山社会福祉協議会副会長）・髙橋氏（西第一地域包括）・世古氏（西第二地域包括）・髙橋氏（横須賀愛光園園長）・久保田氏（聖隷訪問看護ステーション横須賀）・聖隷看多機樋口・角井（司会/書記）

欠席者：なし

議題

1. 出席状況と今後の参加者について
2. 2026 年 4 月からの運営状況報告
3. サービス利用状況
4. 医療処置対応者の状況
5. 取り組みと活動報告
6. 事故報告とヒヤリハット対策
7. 地域交流および行事予定
8. 研修・勉強会の実施状況

1.出席状況と今後の参加者について

概要

- 定例メンバーからの欠席者はなし。
- 武山地区民生委員会長の小川氏を招待し、参加の承諾を得ている。

決定事項

- 小川氏は今回民生委員会の定例会（13 時 30 分開始）と重なるため欠席。
- 次回（第 4 回）から小川氏が出席予定。

2.2026 年 4 月からの運営状況報告

概要

- 利用者数は 4 月から大きな変動なく 19～20 名で推移している。
- 定員 25 名に対して約 80%の稼働率を維持している。

利用者の介護度

- 要介護 4 の方が半数弱を占める。
- 要介護 1～2 の軽度の方も多い。
- 要介護 3 の中程度の方は少ない傾向が継続している。

- 平均介護度は 2.58 で、横須賀市の看護小規模多機能連絡会の平均値並み。

新規入退院状況

- 4 月までの累計で新規 5 名、待機 6 名（差引マイナス 1 名)。
- 4 月以降 8 月にかけて新規契約者が 2〜3 名増加。
- 次回報告では人数増加が見込まれる。

3.サービス利用状況

概要

- 5 月から 7 月までの各サービス回数に大きな増減はなく、計画どおり遂行されている。

泊まりサービス

- 6 月・7 月は若干減少したが、利用者都合によるサービス調整の結果。
- 4 月から職員配置が土日も可能となり、フルオープン体制を実現。
- ただし実績としては週末の泊まり利用者はまだいない。
- 来週・再来週の週末から 1 名の利用希望があり、徐々にスタート予定。

4.医療処置対応者の状況

概要

- 医療処置が必要な利用者の状況を報告。

対応者内訳

- 胃ろう：1 名
- バルーンカテーテル管理：3 名
- インスリン注射・血糖測定：0 名
- 在宅酸素：2 名
- 喀痰吸引：2 名
- 褥瘡・創傷ケア：4 名

評価

- 他施設と比較して医療依存度の高い利用者は多いが、看護小規模多機能としては標準的な数値。
- 今後も継続的に状況を報告予定。

5.取り組みと活動報告

介護と看護の連携事例

概要

- 要介護 5 の男性利用者（ほぼ寝たきり、喀痰吸引必要、意思疎通困難）が 8 月半

ばから発熱を繰り返した。
- 医師から解熱剤や抗生剤の処方を受けていたが症状が継続。

経過
- 泊まり利用中に左胸の痛みを訴える。
- 夜勤介護職員が早番職員に伝達し、早番職員から看護師へ速やかに情報共有。
- 看護師が胸部聴診を実施し異常を確認。
- 医師の休暇期間中だったが、看護師から緊急連絡を行い救急搬送を決定。

結果
- 左肺に心臓付近まで膿が溜まっている状態と判明。
- カテーテルを挿入して膿を排出する処置を実施し入院。
- 当初は市民病院で手術予定だったが、右肺にも異常が見つかり横須賀共済病院へ転院。
- 共済病院では手術不要と判断され、9 月 11 日に市民病院へ再転院予定。

評価
- 介護職員から看護師への速やかな情報伝達により、最悪の事態を回避できた好事例。

質疑応答
- 質問：発熱から救急搬送までの期間はどのくらいか。
- 回答：約 2 週間弱。発熱から痛みの訴えまで時間差があったが、痛みの訴え後は看護師が迅速に対応した。
- 質問：利用者は家族と同居しているのか。
- 回答：夫婦のみの世帯。以前は娘も同居していたが現在は別居。息子は近隣に居住し精神的サポートを提供。

外出レクリエーション（三浦かっぱ寿司）

概要
- 7 月 28 日に三浦のかっぱ寿司へ利用者 2 名・家族 2 名・職員・看護師が同行して訪問。
- 前回のはま寿司訪問時に、誕生月に再度行きたいとの希望があり実現。

実施内容
- 現地で利用者の配偶者と合流し、一緒に食事。
- 車椅子利用者のため、レストランでの食事は家族だけでは対応困難。
- 普段は柔らかい食事の方も、寿司を楽しんで食べた。

反省点
- 車椅子用テーブルが 1 つしかなく、2 組の利用者が同じテーブルを使用。

- 家族団らんの雰囲気が不十分で、前回（はま寿司）の方が良かったとの声。
- はま寿司は車椅子用座席が２つあり予約も可能なため、今後ははま寿司の方が適している可能性。

今後の予定

- 利用者は寿司を非常に喜んでいたため、今後も企画を継続予定。

かき氷レクリエーション

概要

- 毎年恒例のかき氷レクを実施。今年はシロップを増量し豪華版に。

実施内容

- 約１週間実施。
- 男性利用者が特に喜び、一生懸命氷を削った。
- あんこ、練乳などのトッピングを用意。
- シロップがなくなるほど好評。
- 職員も一緒に楽しんだ。

評価

- 子どもの頃を思い出すとして、利用者全員が喜んで参加。

6.事故報告とヒヤリハット対策

概要

- 重大な事故や利用者の大きな怪我は発生していない。
- 軽微な事故が中心で、未然防止の対策を強化中。

軽微な事故の例

- 食事の札で当日不在の利用者の食事が届くなどのミス。
- 確認作業のマニュアルを整備し、職員への周知を徹底中。

ヒヤリハット対策

背景

- 横須賀愛光園内の事故委員会に看多機職員が参加。
- 委員会から看多機のヒヤリハット報告件数が少ないとの指摘。

取り組み

- ８月からヒヤリハット事例を積極的に報告する体制を構築。
- ヒヤリハットを多く報告することで、重大事故を未然に防ぐ方針。
- 先週の職員会議で全職員に共通認識を持たせた。

目標

- ハインリッヒの法則（1 件の重大事故の背後に 29 件の軽微な事故、300 件のヒヤリハットがある）を参考に、事故の 9 倍程度のヒヤリハット報告を目指す。

課題

- 経験豊富な職員ほど、ヒヤッとした体験を紙に書かない・共有しない傾向がある。
- 日常業務の中でヒヤリハットを可視化する仕組みづくりが必要。

7.地域交流および行事予定

概要

- 地域交流の取り組みについて検討中。施設として地域貢献できる活動を模索している。

11 月 1 日の武社協のみかん狩り

- 看多機職員がドライバーとして参加予定。

道路清掃活動

計画

- 武山地区の道路の清掃を検討中。
- 施設周辺の清掃だけでは「自分たちの庭掃除」になってしまうため、地域住民の生活道路を清掃する方針。
- 秋頃（涼しくなってから）の実施を目指す。

実施方法

- 横須賀愛光園の地域連携委員会に看多機職員も参加。
- 武山地域運営協議会と連携して実施する案。
- 愛光園（看多機）として活動することで、地域住民に認知してもらう狙い。

質疑応答

- 意見（世古氏）：地運協を通じて活動する場合と、愛光園独自で場所を決めて活動する場合がある。愛光園が独自に行う場合は地運協に相談が必要。地運協の活動に参加する場合は土曜日になる可能性がある。いずれにしても地域の方は喜ぶと思う。

地域イベント実施予定

9 月 12 日

- 認知症理解促進イベント（汐入コースカ、10 時～17 時）。
    - 横須賀市、大塚製薬、京浜急行が共催。
    - 林在住の方から多数の景品寄付があり、配布予定。
    - 世古氏が午前中参加予定。
- 西地区盆踊り（ソレイユ、夜開催）。
    - 西地区の関係者が企画。（長井・大楠・武）

    - 雨天の場合は翌日に延期。
- 長井地区イベント（12 時〜19 時 45 分）。
    - ダンス、和太鼓、盆踊り、ドローンショーなど多彩なプログラム。
    - ブリリアントダンスのリーダーに来年の福祉ふれあいフェスティバルへの参加を打診済み。

9 月 19 日

- 長井地区 N フェス
    - 聖隷訪問看護と看多機から各 1 名ずつ職員を派遣予定。

8.研修・勉強会の実施状況

実施済み研修（8 月）

- 苦情対応研修。
- 地震想定避難訓練。

今後の予定

- 9 月：コンプライアンス・個人情報保護に関する勉強会。
- 10 月：水消火器を使用した消火訓練、AED 取り扱い訓練（上半身人形を使用した実技訓練）。

次回開催予定

- 次回（第 4 回）運営推進会議は 11 月 12 日（木）開催予定。